日本共産党 和歌山市会議員
ひめだ高宏ニュース
NO.1243
'19.5.7

改選後初の議員懇談会

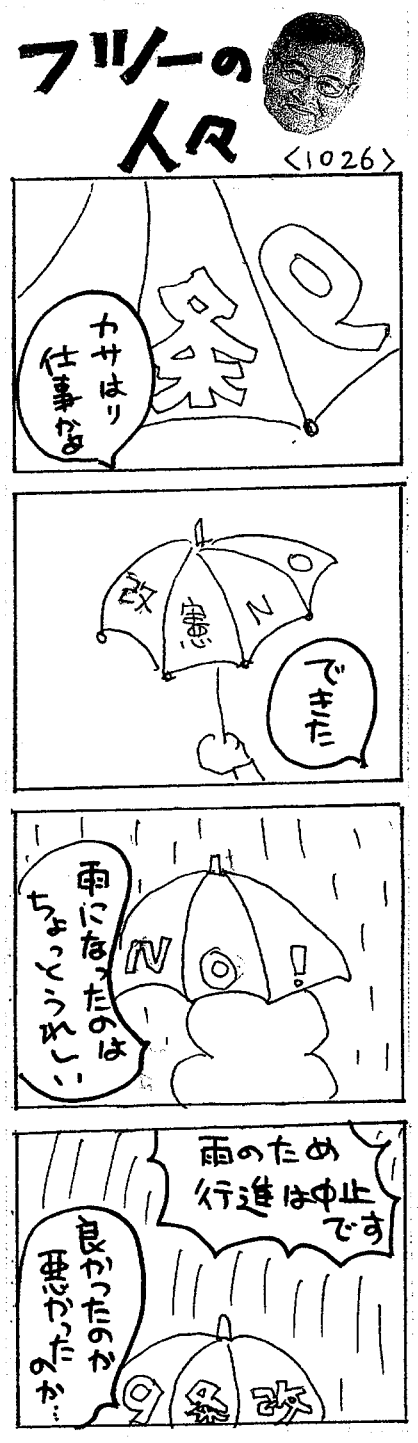
今朝、お堀端でお城の新緑が目に飛び込んできて久しぶりに季節の移ろいを感じました。5月7日(火)和歌山市議会の議員懇談会が開かれ、1人欠席で37人の新議員が集まり、市長、局長が紹介され、議員の自己紹介、議会事務局職員の紹介がありました。会派の構成が決まった段階で各派代表者会議や5月臨時市議会が開かれる予定です。

控室の席替えしました。

改選後、さかぐち妙美子議員を迎え、初の団会議は8日に行いますが、会派構成が未定の段階では控室や常任委員会の配分も決まっていません。

とりあえず現在の控室の中で、席替えの提案がありし私、ひめだは窓際に移動しました。

フツーの人々 〈1026〉



ひめだ高宏、森下さちろ、坂口たみこ、奥村のり子県議、前ひさし参院選挙区、南畑さちよ、中村あさと（メーデー会場で）

アベ政権にサヨナラしよう

和歌山城西の丸で開かれたメーデーで琴浦県地評議長は、アベ9条改憲ノー、消費税増税ストップを、野党が本気の共闘をし、アベ政権を終わらせるため力を合わせようと呼びかけ、日本共産党の前ひさし参院選挙区候補は、アベ政権サヨナラの選挙にしようと訴えました。集会前に前さんと党県議・市議が記念撮映。

今週のフツーの人々 (その189)

雨のメーデー

5月1日(水)第90回和歌山県中央メーデーが和歌山城西の丸広場で開かれました。私、ひめだは毎年メーデーには自作のプラカードと日本共産党のノボリを持参することにしています。今年はどうしようかと迷っていたとき、天気予報で当日は雨が降ると聞き、透明のカサに何か貼り付けたらどうだろうかと思いつきました。ポリエチレンの梱包用テープを使って「9条改憲NO！」と貼り付けました。当日朝は微妙な天気でしたが雨がッパを着て力サを持って行きました。途中で雨が降ってきたときは「キタキタ」と思わずニンマリしてしまいましたが、そのうち雨が激しくなり、行進が中止になりました。結局、透明力サのプラカードは良かったのか、悪かったのか、不思議な気持ちになりました。

ひめだ高宏

10連休の過ごし方

私、ひめだの場合

世間では、10連休と騒いでいましたが、多くの方はフツーに仕事などしていたのではないでしょうか？

4月28日(日)に私、ひめだは新スポ連和歌山テニス協の男子ダブルスの試合に参加。女子2組を含む参加8組という少ない試合でしたが、4か月ぶりのテニスを楽しみました。あとはメーデーの準備とメーデー。

地区委員会の留守番をはさみながら、市役所控室で席替えのための書類の移動や不用品の処分をしました。

5月5日の子どもの日には、演劇集団和歌山の「あ・り・が・と」(麻創けい子作、山入桂吾演出)を見ました。障害者とその家族、重いテーマに正面から体当たりするかのような芝居でした。

こんにちは 日本共産党です

使い放題の官房機密費

アベ内閣が昨年1年間に支出した内閣官房機密費12億3800万円のうち、菅官房長官の裁量で領収書無しの支出ができる政策推進費が1億16

20万円になることが5日、しんぶん赤旗が情報公開で入手した資料で判明。

官房機密費は、会計検査院に対しても領収書や支払い相手を明らかにする必要がない"ヤミ金"の性質を持ちます。その中でも活動関係費など他の支出は出納事務に内閣総務官らがたずさわり、内部処理では領収書を必要とします。

ところが政策推進費は、官房長官に渡された時点で支出が完了したことになり、官房長官から先の支払先を明らかにする必要がなくなっています。第2次アベ内閣が発足して6年間に使い残して国庫に返納した額は、わずか33万円。

【2019年5月】活気ある住みよい和歌山市をつくる会・国民要求実現和歌山市大運動実行委員会 共催

和歌山市政　学習・懇談会

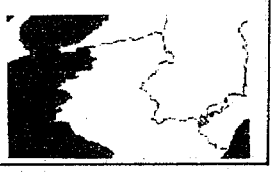
尾花市長2期目の2月定例議会で、2019年度当初予算が議決されました。

市会議員選挙で市議会は、新しい会派構成となりました。

要求課題の実現へ市政学習会を開催します。

日時　5月　15日(水)　午後6時30分～

場所　和歌山市教育会館　3階大会議室



発行：活気ある住みよい和歌山市をつくる会・国民要求実現和歌山市大運動実行委員会
連絡先：TEL 073-441-5090　FAX073-441-2550　和歌山民医連内

潮流

(19.5.1日刊赤旗)

良い時代を！。笑顔で交わす言葉を耳にしました。テレビや新聞に引かれるように、まるで年越しの雰囲気に街も人も染まっているかのようです▼昭和、平成、令和。思いもよらず、三つの元号を体験することになりました。明治や大正から生きてきた人たちは改元のたびに、どんな思いを重ねてきたのでしょうか。たとえ元号が替わっても平和な世を願う気持ちに変わりはありません▼ある目安によって区切られた長い期間。歴史的な特色をとらえて区分した一定の期間。あいまいさを伴う「時代」を辞書で引くと、そんな意味が並びます。国民主権の世にあって天皇在位で時代を分けることに不自然さや不合理を感じている人は多い▼「元号一辺倒の歴史認識は無用なストレスと混乱を引き起こす」。歴史学者の大日方純夫さんが『歴史地理教育』に書いています。連続している時間へタテの流れ〉をはかる物差しにはふさわしくない。歴史をヨコの広がりの中で促えようとするとき、役に立たないと▼時代の区切りといえば、この国は大きな転換を経験しました。現人神とされ、絶対的な存在だった天皇のもと破滅に突き進んでいった戦前。そして、世界に先駆けた新しい憲法のもとで国民が主人公になった戦後。その色分けは鮮やかです▼強制すべきではない新元号を国柄と絡ませ、新しい時代の始まりや希望のごとく吹聴するアベ首相。しかし、いまや時代は上からの押しつけではありません。それをつくっていくのは、われわれ自身です。

しんぶん赤旗 日刊 日曜・祝日休 4ページ 97円/月 日よう版 330円/月